

# 競技上及び審判上の注意事項

本大会は、公認野球規則、及び全軟連規定を適用します。但し次の規定を優先する。

1. ベンチは、組合せ番号の若い順を一塁側とする。先攻、後攻はトスにて決める。
2. 試合時間に関して、高学年は6回戦1時間20分、低学年は5回戦1時間10分とする。(プレーボール後に、両チームへ開始時間を伝えることとする)  
時間を過ぎて新しい回には入らない。表の攻撃で時間が来た場合は(先攻チームが勝っている時)、裏の攻撃までやることとする。裏の攻撃で(後攻チームが勝っている時)時間が来た時は、アウトカウントに関係なくその打者で終了することを球審は宣告しなければならない。
3. 参加資格に関して、高学年は6年生以下で編成し、低学年は4年生以下で編成したチームで大会前に登録されたチームとする。尚、補強は認めない。ただし、単独で編成できないチームは、合同チームによる参加を認める。不正出場その他規則違反に対しては、杉並区軟式野球連盟規約により処理する。
4. 延長戦は行わず、規定回終了時又は制限時間を過ぎて同点の場合は、抽選によって勝負を決定する。  
(タイブレークは行わない)
5. 得点差によるコールドゲームは、高低学年とも3回終了時10点差、4回終了以降7点差とし、降雨、日没により試合続行不可能となった時の試合成立は、高学年が4回完了時、低学年は3回完了時とする。
6. 小学生は、投手は変化球を投げる事を禁止する。ペナルティは競技者必携を参照する。
7. 準決勝以降については、投手の投球制限は高学年が70球まで、低学年が60球までとする。  
但し、①投球を完了したボークの場合は投球数に入れる。②打者途中で投球制限数に達した場合は、その打者が終了するまで投げる事が出来る。
8. ボークについては1回目から適用する。低学年は注意のみ
9. 用具については、打者、走者、次打者、ベースコーチは両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用し、捕手はプロテクター、レガード、ファウルカップ、スロートガード付きマスク、ヘルメットを着用の事。  
ハイコンバットを含むすべての用具は、J. S. B. B. のマークの入ったものを使用する事。
10. 抗議の出来る者は監督、当該プレイヤーとする。但し、判定についての抗議は認めない。
11. 選手交替の際は必ず監督が主審に申し出る事。
12. 自チーム、相手チームに対する品位のない言動に充分注意する事。審判部の判断で指導者、選手、応援者の退場を宣告出来る。
13. 開始予定時間30分前に大会本部へメンバー表3枚を提出し、検印を受けた後、1枚をチーム控えとして返却する。(残り2枚は対戦チームと本部とする)  
なお、試合予定時間30分前に大会本部へメンバー表を提出されなかった場合、または試合開始予定時間に集合しないチームは不戦敗とする。
14. 試合中は、監督に限りグラウンドに出て指示する事が出来る。コーチはグラウンド内でグローブの使用を禁止とする。父母はグラウンドに入れない。  
なお、指導者が代理キャッチャーを行う事を特別に認めるが、審判に了解を得ること。
15. 背番号は選手0~99(主将10)の20名以内、監督30、コーチ29、28番、登録は男女問わない。
16. ベンチ入りは代表者、監督、コーチ2名、スコアラー(チーム帽子着用)、健康管理者2名以内(チーム帽子着用)、計7名以内と登録選手20名までとする。  
ベンチ入りする代表者、監督、コーチのうち1名が指導者資格を保有していること。

